

令和 4 年度
第 1 回太子町国民健康保険運営協議会会議録

日時：令和 4 年 8 月 4 日（木）

午後 2 時 00 分～2 時 58 分

場所：太子町役場議会棟 2 階 常任委員会室

太子町生活福祉部町民課

令和4年度第1回太子町国民健康保険運営協議会 会議録（要点記録）

1. 協議会の開催日時及び場所

月日：令和4年8月4日（木）

開会：午後2時00分

閉会：午後2時58分

場所：太子町役場議会棟2階 常任委員会室

2. 協議事項

① 令和3年度太子町国民健康保険特別会計決算について

3. 委員の出席・欠席者

出席委員：玉田 正典 中薮 清志 上岡 路明 福田 幸代

欠席委員：龍田 孝夫 廣橋 數隆

4. 事務局

副町長 杉原 勝由 生活福祉部長 嶋津 一弥

町民課長 福井 照子 係長 八木 智晴

5. 協議会経過及び結果

別紙にて記載する。

1. 開会
2. あいさつ 杉原副町長
3. 会長あいさつ 玉田会長
4. 会議録署名委員の指名
会長が中薮清志委員と福田幸代委員を指名
5. 議事

福井課長：「令和3年度国民健康保険の概要」について説明

八木係長：「令和3年度太子町国民健康保険特別会計歳入歳出決算」について説明

会 長：先ほどの説明について、何か質疑等がございましたら発言をお願いします。

中薮委員：課長の説明にありました特定健診の受診勧奨についてですが、事業自体は町民課で行われているのでしょうか。

福井課長：事業自体はさわやか健康課が行っていますが、さわやか健康課に町民課所属の保健師がおりますので、連携して実施しております。

中薮委員：国民健康保険は、事業者ですとか社保ではない方が加入されていると思いますが、コロナの影響はどうであったのか、また、保険税額が上がってきていますので少しでも被保険者の負担が抑えられればと思うのですが、お考えをお願いします。

福井課長：まず、コロナの影響についてですが、コロナ減免ということで昨年度は13名、243万800円について保険税を減免しております。前年度よりも収入が減った方について減免し、負担が重くならないよう国の施策としてあります。あとは、コロナの傷病手当金もあります。こちらにつきましてはコロナにより一定の期間働けなかった方につきまして、基準に基づいて給付しております。令和3年度につきましては、申請はありませんでした。令和4年度につきましては、既に4名の方から申請があり、約10万円給付をしております。国保加入者でコロナにより収入が減少した方については、できるだけ負担が軽くなるよう取り組んでおります。それから、医療費の適正化ということですが、保険というのは必要な時に必要な医療を受けていただけるというものでありますので、受けないでくださいといった指導をする予定はありません。ただ、医療費の上昇を抑制するために、ジェネリック医薬品を使用してくださいであるとか、頻回受診や多重薬剤の方に対しての指導、それから、糖尿病性腎症の重症化予防ということで、人工透析になってしまうと毎月かなりの額の医療費となりますので、そういった重症化を防ぐ、予防の観点からの取り組みを進めております。

中藪委員：歳入の不納欠損額についてですが、考え方についてお願いします。

福井課長：不納欠損についてですが、合計 307 件の不納欠損があり、破産や無財産、生活保護や生活困窮といった理由が 105 件、時効を迎えた件数が 202 件となっております。時効を迎えた分につきましては、分納誓約がなかなかいただけなくて時効を迎えてしまった形になっております。これにつきましては、税務課収税管理室と協力しながら今年度も積極的に取り組んでいきたいと思っております。

上岡委員：特定健診を実施し、医療費は下がってきていますか。太子町だけの話ではなく国全体として特定健診が始まってから医療費が多少なりとも下がったというデータがあるのかと思ひまして。

福井課長：特定健診を受けたから医療費が下がっているといった数値は掴めていません。どの程度下がったかについては、今後検証できる範囲で検証させていただきます。

会 長：健診受診率はどれくらいでしょうか。

福井課長：受診率は伸びています。令和 2 年度は受診者が 1,399 人で 25.8%でしたが、令和 3 年度は 1,519 人で 28.2%、人数にすると 120 人の増、2.4%の増となっております。ただ、これにつきましては、令和 2 年度がコロナの影響で減っていたこともありますので、今年度につきましてはできるだけ受診していただけるように、電話勧奨も積極的に進める予定です。

上岡委員：特定健診は、病院にかかっていない人を早期に健診して、軽症のうちに見つけたり、予防したりするのが本来の目的だと思いますが、実態はちゃんと病院にかかっている人のほうが熱心に健診を受診しているような気がします。そういった人からしたら 1 回分の検査代が浮くということで、そういったスタンスの人が非常に多いです。本来はそういった人達は特定健診を受診する必要がある人だと思います。だから、ある程度の年齢で、通院歴がない人達を対象に積極的に勧奨するというのが、特定健診の本来の目的じゃないかと思ひますので、積極的に働きかけたらと思ひます。

福田委員：予防しても病気になるし医療費もかかります。基金の取り崩しもありますし、国保税を納税する若い被保険者の数を増やし、保険税の税収を増やすことを町全体で取り組む事はできないのでしょうか。もっと町に人口を増やさないと、予防だけではこの先立ち行かないと思ひます。

会 長：少子化の問題は、全ての問題に影響が出てきます。税収にしても教育にしてもこういった保険制度にしてもです。

福田委員：土台がどんどんなくなっていき、上ばかり膨らんでいるので、いくらセーブしても、いつかは倒れてしまうんじゃないかと思ひます。長いスパンで考えていかないといけないと思ひます。

杉原副町長：総合計画というものがあり、10年ごとに改訂しますが、前の総合計画で人口推計を出したときは、今の人口よりもっと少ない予測でした。幸い太子町は人口減少が少ないということがあり、それを分析していく中で、出生率が全国的に下がっている中で、太子町は下がり方が鈍い、女性1人が出産する子どもの数が県内でも高いほうです。なおかつ、15歳未満の子供の占める割合は県内でずっと1位をキープしております。もう1つは、転入もあります。太子町の北部から西部の方にとっては、網干駅が非常に便利です。糸井であったり、蓮常寺、矢田部の市街化区域の土地が売りに出ると、住宅メーカーさんが飛びついて競争になっています。ですが、全体数についてはやはり少なくなってきていますので、そこをテコ入れるためにどうすればよいか考えているところでございます。

福田委員：出生数が上がるのはいいのですが、子供が大きくなり太子町にいてくれないと意味はないと思います。出て行ってもまた帰ってこられるような、長いスパンで町づくり計画を立てないといけないと思います。便利でとてもいい町だと思いますが、私の家の近所もすごく空き家が増えて、家が建ちません。町独自の何か施策があればとすごく思います。

会 長：副町長も言われたように、明石市は子育て支援に特化して予算措置や職員の配置を行っています。成功している施策の一例だと思います。見習うべきところが多々あると思います。それから先ほど総合計画の話もありましたが、人口を増やす端的な方法というのは、1つは子育てのしやすい町、あとは、土地利用の制度をどう使うかだと思います。太子町は網干駅も近いですし、バイパスもありますし、まだまだ発展する余地があると思いますので、そういった施策をぜひお願いしたいと思います。

杉原副町長：先ほど言われましたように、調整区域というのが非常に大きなハードルになっています。調整区域の中でも農振農用地といいまして更にハードルが高い区域があります。例えばバイパスの太子北インターチェンジの北側が該当し、縛りがきつく、家を建てようにも中々建てられないといったように厳しいものがあります。斎藤県知事が土地利用の緩和についての公約を掲げており、少しずつ緩和はしていますが、岩盤規制といわれるように中々進みません。これが改善されれば太子町も調整区域にもっと家が建てられるようになるのには思っていますが、中々進まないのが現実です。

会 長：他に何かございますか。それでは私の方から。11ページの1番下の災害臨時特例補助金について、内容と人数について説明をお願いします。

福井課長：コロナ減免を受けられた方の保険税の減免分につきまして、国の方から10分の6、県の方から10分の4、合計10分の10全額補助されているものでございます。11ページに記載分は、国庫補助金で国から入った分となります。

会 長：他に何かございますか。よろしいでしょうか。それでは、ご意見がないということですので、本日の協議事項であります、令和3年度太子町国民健康保険特別会計歳入歳出決算につきましては、当協議会として承認をさせていただいてよろしいでしょうか。

全 員：はい。（異議なし）

会 長：ありがとうございます。では承認とさせていただきます。本日の議事と致しましては以上です。長時間にわたりご審議いただき、ありがとうございました。また本日はどうもお疲れ様でした。

（閉 会）

この議事録が真正であることをここに署名する。

令和4年 8 月 26 日

署 名 委 員

福田 孝代

署 名 委 員

中藪 清志